

ヘアリーベッチを越冬緑肥として栽培

後作の有機野菜で チッ素減肥が可能

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
農業研究本部 十勝農業試験場
研究部生産技術グループ 櫻井 道彦

緑肥には土壌の物理的、化学的、生物学的改善効果が見込める一方で、その栽培期間中には換金作物の作付けができないデメリットもある。近年、府県では緑肥としてヘアリーベッチを秋から翌春の農閑期に作付けする越冬栽培が広がっている。そこで、ヘアリーベッチの本道での越冬適性と後作物として有機野菜を栽培した際のチッ素減肥について検討したので紹介する。

ヘアリーベッチの越冬栽培

多雪・凍結地にも適性

ヘアリーベッチは西アジア、地中海東部を原産地とするマメ科の一年生植物で、20度前後が生育適温であるが冷涼な気象条件下でも生育できる。早生品種に比べて耐寒性、耐雪性に優れた晩生品種のヘアリーベッチを道央の多雪地帯や道東の土壤凍結地帯で作付け

写真1 すき込み時のヘアリーベッチ (5月下旬)



写真2 すき込み時の混播 (5月下旬)



表 越冬緑肥の栽培法と後作物へのチッ素減肥

	ヘアリーベッチ	混播 (ヘアリーベッチ+ライ麦)		
播種期限	9月上旬～10月上旬 ※日平均気温から4度を差し引いた値(下限0)を年末からさかのぼっての積算値が350度以上となった日の1日前			
播種量 ($\text{kg}/10\text{a}$)	5	ヘアリーベッチ: 5、ライ麦: 5		
チッ素施肥量 ($\text{kg}/10\text{a}$)	0 ※種子のみの散布が困難な場合、必要最小限の肥料を増量材として散布する	5		
播種方法	散播後、ロータリーなどで深さ30cm程度に覆土する。その後、鎮圧するのが望ましい			
すき込み時期	5月下旬～6月中旬 ※日平均気温から4度を差し引いた値(下限0)を年始から積算し、その積算値が300度以上となった日			
想定収量 (乾物 $\text{kg}/10\text{a}$)	250	600		
すき込み方法	フレールモアなどで細断後、ロータリーなどですき込む			
後作までの腐熟期間	2週間以上			
後作物のチッ素減肥量	乾物重 ($\text{kg}/10\text{a}$)	100 200 250 300 400	乾物重 ($\text{kg}/10\text{a}$)	200 400 600 800
	草丈(%) ¹⁾	15 30 35~40 45 60	草丈(%)	- - - -
	有機栽培 (有機質肥料)	2.0 4.5 5.5 7.0 9.5	有機栽培 (有機質肥料)	0.5 1.0 1.5 2.0

1) つるを伸ばさずそのままの状態にて測定した値
2) 供試品種: ヘアリーベッチ「寒太郎」、ライ麦「R-007」

したい場合には、ヘアリーベッチとライ麦の混合播種(混播)をお勧めする(写真2)。ライ麦は耐寒性に優れた生育も旺盛である。ヘアリーベッチとライ麦の種子を等量混合して播種すること、すき込み時には10cm程度の乾燥した

有機野菜へのチッ素減肥 250kgをすき込み5.5kg減

ヘアリーベッチは根粒菌由来のチッ素固定量が多い。炭素率(C/N比)が11程度と低く後作物へのチッ素供給は速やかでその

腐熟期間は2週間以上を確保。一方、混播はC/N比が25程度とやや高く、すき込んだ後の分解はヘアリーベッチに比べて緩やかとなるため、後作物のチッ素減肥量は10kg当たり1.5kgが

終活のすすめ

(一社)終活マイライフ 代表理事 櫻木 泰子

北海道も暑い夏を迎え、地域によって異なるお盆の時期になりました。夏休みを兼ねての帰省を楽しみに先祖供養をされる方も多いかと思えます。

いのちの絆・お盆(盂蘭盆会)

お盆の入りには、ご先祖様が道に迷わないようにオカラを焚いて「迎え火」をし、お盆の締めくくりには「送り火」で見送る。お仏壇には盆提灯を飾り、精霊馬のキュウリ(馬)やナス(牛)のお供え物をしてご先祖様が馬に乗って早く帰ってこ